



二見農園 一見昌実さんに聞きました

栽培のポイントとお薦めの食べ方

収穫する実を素早く絞り込む

収穫する実を絞り込む「摘果」の作業をとても大事にしています。栄養を集中させ、大きくおいしい実を作る重要な工程です。「摘果」にはタイムリミットがあります。

遅れると実が育ちにくく、肥料を増やして無理に大きくすると薄味になります。

直売のナシは「早く」「そのまま」食べて
ナシは食べずに置いていても良いことはありません。直売しているナシは完熟状態で収穫するので、買ったときに食べ頃です。生もの感覚で、できれば5日以内には食べてほしい。ナシ本来の甘みを味わうには冷やし過ぎずに食べるのがお薦めです。風呂上がりに食べるナシは最高ですよ。

二見農園

土づくりから収穫まで

夏の収穫に向け、前年の11月頃から土づくりが始まります。門沢橋の二見農園の栽培を追いました。



11月上旬

元肥・耕うん・ライ麦の播種

トラクターで肥料を土に混ぜ込み、緑肥となるライ麦の種をまきます。春に刈ったライ麦は土に還り、長く伸びる根は土の保水力と通気性を高めて豊かな土にします。



6月上旬 **袋掛け**
ナシの日焼け防止や、鳥や虫よけのための袋を掛けます。



5月上旬 **摘果**

収穫する実に栄養を集中させるため、不要な実を切り落とします。



7月下旬~9月中旬 **収穫・出荷**

実ごとに熟するタイミングが異なるため、色や香りで見極めて収穫します。



4月中旬

摘花・受粉

ナシの花は、サクラの花が散り始める頃に咲きます。不要な花を摘み取り、残した花を確実に結実させるために、受粉機を使って花粉を交配します。



12月上旬~1月下旬

剪定・誘引

良い実を付けるために不要な枝を切り落とし、残した枝を「果樹棚」という網状に張った針金に結びつけます。強風で枝が折れたり、果実が落下したりする被害を減らします。

3月下旬~4月上旬

摘蕾

養分の消費を防ぐために、不要な蕾を摘み取ります。

7月下旬

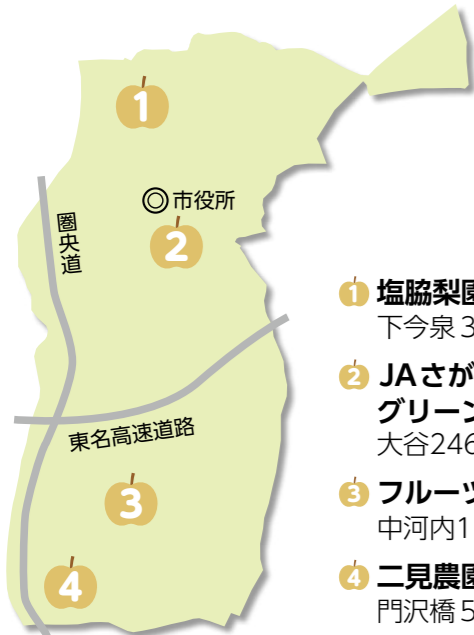
立毛審査

収穫期に入る頃、各ナシ園の管理状況とナシの生育状況を県農業普及指導員などが審査し、アドバイスをします。生産者が互いの情報を知る大切な機会です。



海老名のナシが買える場所

毎年7月下旬から9月中旬頃に、下記の場所で販売しています。直売所により販売時期は異なります。



- 1 塩脇梨園 下今泉3-3-47
- 2 JAさがみ海老名グリーンセンター 大谷246
- 3 フルーツランド普川 中河内1142
- 4 二見農園 門沢橋5-3-28